

ひだまり

2021 年 11 月号

建交労女性部発行
東京都新宿区百人町 4-7-2
TEL 03(3360)8021

制約はあっても動きは止めない 集まれば元気、語りあえば勇気

第 22 回
定期大会

11 月 7 日、午後 1 時から第 22 回建交労女性部定期大会が開かれ、全国 14 都府県をオンラインでつなぎ 40 人以上が参加しました。

開会あいさつのあと、埼玉と東京から 2 名の議長を選出、加藤女性部長と角田中央執行委員長がそれぞれあいさつしました。角田委員長は「建交労は基礎体力がしっかりしているが、時代とともにリノベーションが必要になってきている。今こそ、声を集めみんなに届ける行動を積み重ねてきた女性部の力を発揮して」と参加者に訴えました。

そのあと、友好団体から寄せられたメッセージの紹介で全労連女性部船橋部長からのものが読み上げられ、井上事務局長が報告・方針提案を行い、会計報告と予算提案のあと、参加したすべての地域から発言がありました。

討論終了後、議案採択、新役員提案と承認、大会宣言が確認され、「わたしの願い」アピールでエール交換を行い、団結ガンバロウでしめくられました。

各地の報告から その1

労働組合の歴史載せたニュース届けて…

▶組合拡大がなかなか進まない中で、労働組合があったからこそ、様々な要求が実現してきたことを知らせようと、1950 年からの全日自労結成以降を振り返る記事をニュースで連載している。集まれるようになったら DVD「わたしの宝」をみんなで観る機会をもちたい。(兵庫・細見さん)

できることから、楽しくはじめよう！

▶女性部を結成したけれど、コロナ禍で結成大会が延期となっている。できることからやろうと、中央女性部作成のニュースや除菌シートなどを県内すべての女性たちに渡してきた。青年部が提起した折り鶴プロジェクトに女性部としてもとりくみ、事業団の休憩時間などに楽しみながらとりくみ、7000 羽の鶴を折った。(新潟・垣内さん)



1 段目(左から)福島(鈴木、加藤)、中央本部、新潟(永島、垣内)、長野(郷津、磯野)
2 段目 愛知(尾崎、佐竹、松井、浜田、長縄、三井、廣瀬)、大阪(金丸)
3 段目 京都(浦田、宮出、森谷、藤井)、兵庫(細見、小島)、徳島(小川、井上、藤原)
4 段目 岡山(朝倉、山田)、福岡(阿部、秋月、多田)、長崎(安永)、沖縄(當間、戸口)
5 段目 長野(倉島)、大阪(粕川)



中央本部にて 上段(左から)東京(江部・廣川)、本部(山本)
下段 東京(横山・議長)、埼玉(渋谷・議長)、本部(角田)

休憩時間に女性部からの アピール3つ行いました

1. ながのバッグ第2弾 好評発売中!

詳しくは下のQRコードから入って
カタログをご参照ください



第22回大会宣言もこちらで読めます

各地の報告から その2

電話で、アンケートで、会議で声をあつめて

▶名古屋市の保育パート職員の会計年度任用職員への移行にあたり、なかなかリアル交渉もできず苦勞してきたが、アンケートや電話などで仲間の要求をききとるなど工夫しながら活動を止めずに継続してきた。(愛知・尾崎さん)

▶コロナ禍で宣伝や交流会が計画できずにいたが、半日とはいえ京都女性部の総会を開き、女性組合員の賃金差別・インバウンド旅行客減少による配置転換等、現状を聞くことができた。来年は6月に京都で建交労フェスタがあるので、多くの参加者と交流できることを楽しみにしている(京都・浦田さん)

▶関西合同支部では春闘にあたり、元気が出るグッズとしてスローガンが書かれたボールペンを配布した。トラック職場で、パートの退職金制度の充実を訴え来年3月以降に検討する確約ができた。女性ドライバーの制服改善要求も合意し、今女性たちがカタログをとりよせて制服を選定している。(京都・森谷さん)

▶女性組合員訪問や地域に出での宣伝活動はできなかったが、憲法カフェは継続してとりくみ、21回目を開催。宣伝を広げ男性組合員の協力も得て会場6人、リモート10人でマイナンバー制度について学んだ。(東京・廣川さん)

▶6月に福島で全国学童保育部会の協力をえながら学習会を開き、14人が参加した。学童の厳しい現状、毎日の苦勞を分かち合える工夫をしていきたい。(福島・鈴木さん)

▶一人ひとりでも、集まらなくてもできる活動を模索している(岡山・山田さん)

▶「新型コロナなんでも相談会」の活動に大牟田支部で参加。いざ相談の電話を受けると身につまされた。支部で「食材もってかね市」を開催。(福岡・多田さん)

選挙結果、いろいろあったけれど… ちゃんと見て、前を向いて

▶「減らさず増やす」をモットーに支部活動していて、20代女性の生コンドライバールの加入があった。折り鶴や反核の運動にとどまらない積極的な活動をやりたい。

選挙では大阪で「維新の会」人気がすさまじかった。近畿ではマスコミ総動員で「かっこいい」雰囲気が作られている状況があることを、全国のみなさんに知ってもらいたい。(大阪・粕川さん)

▶来年、那覇市長選挙と沖縄県知事選挙がある。沖縄の問題は平和と憲法と大きく関わるので頑張りたいし、ぜひ皆さんのご協力もお願いしたい。(沖縄・當間さん)

▶独自に集まることはなかなかできないが、県の母親大会やはたらく女性の集会に参加を呼びかけていた。11月3日の県本部大会後、久しぶりに交流会を持つことができた。少しずつでもとりくみをもてたら。(長野・郷津さん)

▶女性部はまだありませんが、家族の会に多くの女性組合員がいる。今年、じん肺の総会でその半数ほどが集まることで、「直接あいたかった」との声があがった。(長崎・安永さん)

放送大学無期転換逃れ雇止め裁判 徳島地裁にてほぼ全面勝訴

徳島・藤原さん報告

10月25日、徳島地裁にて判決が言い渡された放送大学無期転換逃れ雇止め裁判。判決確定以降の賃金支払いは却下されたものの、労働契約上の権利を有すること、雇止めから判決確定までの賃金と遅延金を支払うことが被告に命ぜられ、ほぼ全面勝利となりました。裁判の概要について、原告藤原さんの報告をうけました。

◆勤続12年で雇止め 裁判をたたかう

放送大学学園は2013年、それまで更新回数に定めがなかった時間雇用職員に、更新回数と年限に上限を決め無期転換できない就業規定を理事決定し（25年決定）、それを根拠に2018年3月31日をもって、12年間徳島学習センターで勤務していた藤原さんを雇止めとしました。

建交労徳島県本部に個人で加盟していた藤原さんは、雇止めの通告があった2018年1月に組合員通告をして団体交渉を申し込みましたが、2月、3月と2回の団体交渉で雇止めを撤回しないと回答をうけました。その理由は「25年決定」によるものであるとのことでした。

◆争点 労働契約法19条について

争点は、労契法19条1号の無期雇用と同一視できるかと、2号の更新への期待が合理的かという点でした。1号については「該当しない」と判断されましたが、2号については過去に反復して更新されており、合理的な理由があるものとして認められました。

◆争点 労働契約法18条について

もうひとつは、有期労働契約者の無期転換ルールについて定めた労契法18条です。被告の側も雇止めの理由は「労働契約法改正への対応を決めた就業規則の変更によるもの」（25年決定）と説明していることから、明らかに無期転換逃れであるとの判断が下されました。

◆仲間との連携と労働組合の素早い対応が勝因

放送大学学園内に「25年決定」の問題点を指摘した人たちがいて、情報交流を行えたこと、他県の学習センターでも提訴した仲間たちと連携できたことをはじめ、最初から建交労の組合員であったため労働組合として素早く対応でき、地元の国民救援会をはじめ全国の多くの人からの支援があったからこそその勝利でした。

女性部大会後の11月9日、被告は控訴しました。これからもたたかいは続きます。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

女性部からのアピール

2. 来年は京都フェスタ！

2022年6月10日（金）～12日（日）建交労フェスタ in 京都が開催されます女性部でも独自企画があります。きてね！

3. 9ちゃん女性部のほい使ってね！

新しい女性部のほり、ご覧になりましたか？（右写真参照）本部にまだありますのでほしい地域はお問い合わせを。



感想から

★男性が多い組合の中で、折り鶴行動、生活相談、労働運動はもちろん、それぞれの特色を生かして活動を重ねていることに力強さを感じました。また、大阪からの報告で、関西での「維新」の風が何故ふいたのかも納得するものがありました。（東京・横山さん）

★ジェンダー平等ガイドブックは、女性組合員の数だけほしい。一人一人と対話していきたい（東京・廣川さん）

★「ながのバッグ」早速買いました。少しでも力になれたらと思います。（新潟・垣内さん）

★オンラインの参加は初めてでしたが、皆さんと共感が持てました。（長野・倉島さん）

★コロナが落ち着いて通常の形で参加するようになったら一番いいと思う。遠方や身体の調子で参加しづらい方でもできるようにリモートも残していろんな形で参加できればいいと思います。（京都・宮出さん）

★女性部を立ち上げたお話、とても良かったです。発想と行動力、素晴らしいと思います。パワーの源はどこからでしょうか。そのようなお話も機会があれば、また聞かせていただきたいです（徳島・小川さん）

★討論の順番がわかればありがたかったです。（京都・藤井さん）

★愛知の手作りくす玉がとても心ある暖かいもので、見ていてなごみました。（京都・森谷さん）

★女性部はいつも活発で、全国で多彩な活動をされていてすごいなと思います。（福岡・阿部さん）

★気になったのは、大切な活動をされているのを「女性らしい」とか「女性部らしい」活動をまとめているところ。「女性らしい」活動とは生活実態に根差したことなのか、コミュニケーションを大事にすることなのか？それは女性の専売特許にはいけないのでは。（徳島・藤原さん）

第22期役員

部長	井上 玉紀	（徳島）新
事務局長	山本 由里子	（本部）新
事務局次長	江部 明子	（東京）新
委員	渋谷 ひろみ	（埼玉）新
委員	永島 公美	（新潟）再
委員	磯野 紀子	（長野）再
委員	浜田 玉奈	（愛知）再
委員	廣瀬 久子	（愛知）再
委員	金丸 涼子	（大阪）再
委員	小島 マリ子	（兵庫）再
委員	秋月 のり子	（福岡）再

今期で女性部長を退任

加藤美沙子さん、 ありがとうございました



愛知・廣瀬さんお手製のくす玉をわって
お疲れさまでした！

昭和 38 年から全日自労福島県支部で働き始め、建交労女性部の部長は 5 年間勤めました。失業と貧乏と戦争に反対する、素晴らしい労働組合で仕事をすることができました。これからも身体が続く限り、高齢者・失業者・生活困窮者の働く場を作るとりくみにかかわっていきます。

来年の京都フェスタは参加します。またお会いしましょう。



★今回の選挙について、大阪のお話と報告がありがたかったです。地元でも維新の候補が妙に「歯切れ良い」、若さとやる気を「見せる」技術にたけているところを見て、こういう戦略なんだなと思いました。（長野・郷津さん）

★リモートでコミュニケーションとりづらいかも。議長の前にも画面があるといいですね。（兵庫・小島さん）

★お互い声を掛け合い、支え合い、喜び合いたい、そのためには地道な活動、信頼関係の構築が大切ですね。（東京・江部さん）

★コロナ禍であっても臆することなく行動した報告、総選挙の結果から今後につなげる発言などよかったです。（長野・磯野さん）

★パソコンの扱いは、かなり温度差があります。年齢差が大きい組織ですので考慮を。（大阪・粕川さん）

★来年は女性部の方たちと直接会い、いろんな活動の報告ができればいいなと思っています。（福岡・多田さん）

【編集後記】3時間みっちり詰まった内容の大会、建交労女性部ってすごい！と実感しています。早く直接語り合いたいです。（由）